



碧南ロータリークラブ週報

第2669回例会 平成25年12月18日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内 TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次

● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

碧南市歴史資料館員 浅井久夫様

会 長 挨 拶

昨日の中日夕刊を、興味深く読みました。武器輸出の緩和、イタイイタイ病の和解調印、楽天田中の大リーグ移籍、紙つぶてコーナーの動物、アラビアのロレンスなどなどです。これらの記事を見て歴史の学ぶ事が本当にたくさんあるなと感じました。



長田豊治会長

本日は、山中寛三先生から「信天翁」の冊子も頂きまして、浅井久夫先生のお話をじっくりお聞きしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

本日の幹事報告は4点ございます。

- ・ 例会変更等は幹事報告書の通りでございますので、ご一読お願ひ致します。
- ・ 各クラブより、次年度の役員理事の案内が届いております。碧南 RC も役員理事が決定致しました。碧南は来年55周年になりますので、4月6日の記念例会へ向けて、皆様よろしくお願ひ致します。



岡本明弘幹事

- ・ 例会のご案内です。21日は17時から家族例会、25日は振替で休会になります。1月は15日から新年例会という事でスタート致しますので、よろしくお願い致します。
- ・ 皆様のテーブルの上に小伴天さんからお歳暮を頂いております。お持ち帰りをお願い致します。

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 9 名)出席者 55 名	
出席対象者 55/65 名	出席率 84.61%
欠席者 11 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 96.97%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 長田 豊治君 本日は浅井久夫先生に無理を云って卓話をお願いしました。宜しくお願い致します。
- 岡本 明弘君 良い事がありました。1つ完結出来ました。
- 伊藤 正幸君 初めて名古屋モーターショーに行きました。家内と行ってラブラブです。
- 角谷 修君 本日の卓話の講師をご紹介させていただきます。
本日、山中寛三様より「山中信天翁物語」の本を頂き、有難うございました。郷土の勉強になります。
- 大竹 密貴君 黒田泰弘さん、先日はどうもありがとうございました。

卓話

「明治維新を築いた、もうひとりの立役者 山中信天翁」

碧南市歴史資料館員 浅井久夫様

度々お呼び頂きまして、光栄に思っております。まず始めに、信天翁という人がどのような生涯を送ったかをざっと紹介したいと思います。

山中信天翁は、私の物語の中では「猷(まつる)」という名前で登場してきます。文政5年9月に生まれました。現在の山中医院がある辺りだと思えます。幼い頃から勉学に励んだとされています。本の206ページを見れば分かると思いますが、山中家は医者を出しています。信天翁は医者ではありませんが、弟の七郎が尾形光琳の塾で学び、医者になります。その人が、山中家から医者が多く出ているルーツと言えます。七郎は京都で勤王の志士達と合流し、国を変えようとします。



浅井久夫様

ところが弟の七郎が急病で亡くなります。京都にお墓がありますが、配置が変わっていたりで中々見つけられなかったのを覚えております。山中寛三先生の札もありましたので、寛三先生もお見えになられたんだと思いました。

また信天翁の妻やお母さんも亡くなり、信天翁は弟の意思を継ぎ、京都で国を変えようと一大決心をします。伊勢の国で3年ほど学び、京都へ行き勤王の志士と合流します。そこでもう一人の弟に家督を譲ります。時代の背景として、跡取りをほっぽり出して自分の好きな事をやるのは非常に抵抗があったと思います。その辺りの事も物語の中に書いてあります。そこで父親代わりの叔父に相談し、背中を押してもらいました。その叔父の流れで現在の山中先生へ繋がってくるという系図です。

勤王の志士に入り、岩倉具視に出会います。岩倉具視に出会った事で、その後の人生が大きく左右されます。ドラマなどで岩倉具視を見ますと、あまりいい印象はありませんが、たまたま最近見た BS で、岩倉具視がいなければ明治維新はありえなかった、という内容の番組をやっており、私が思っている事を表現してくれていました。悪く言えば策謀家ですが、これが政治力になっています。下級の公家出身で、ついには孝明天皇の側近のような役まで出世します。そこで力をつけ、色々な活躍をします。歴史に詳しい方はご存知かと思いますが、当時は敵が味方になったりと動乱の激しい時代でした。4、5年で京都の岩倉村へ飛ばされ、隠れた生活をします。同じ時期に信天翁も京都で隠れた生活をします。ここで、二人は共通のエネルギーを得たのではないかと、個人的に思っております。

岩倉は大政奉還の時期などでまた力を得てきて、その後、側近として信天翁はおりましたので、信天翁も役人になり色々な活躍を致します。頭は良かったので、岩倉の草案作りをするなどの活躍をします。初代郵政大臣にもなります。また、京都から東京へ遷都する際に、色々な進言や実行をしています。

戊辰戦争で会津藩が壊滅して、幕府側が北海道まで逃げていきますが、新政府が力をつけていきます。信天翁は石巻県（現在の宮城県石巻）の知事に任命されます。なぜ東北の方へ行かされたのか考えたのですが、おそらく岩倉具視は戊辰戦争から1年もしていない時の東北を平定するには、力のある者を行かせなければならない、と考えたのだと思います。その知事で活躍をします。その後、石巻県は登米県と合併し登米県の知事に任命されます。しかし信天翁は知事を辞職し、旧登米県の知事に知事を譲るように明治天皇に進言します。とても思い遣りが感じられる人です。

その後は執事などを経験し、宮家での仕事をします。そして官職を51歳で退き、京都で暮らします。京都の家には天皇や皇后がお越しになられたり、非常に栄のあるのが伺えます。そのような場所を自分が亡くなった後に俗世に汚れるのではないかと危惧し、政府へ返上します。その後東京へ戻り一生を終えました。

私は物語で描きたかった事を5つ挙げています。

一つ目は、風土と地形の沿線を探る事です。米津が海だったり、鷲塚が港だったりです。

二つ目は、歴史舞台での信天翁の人との関わりです。ドラマ等では信天翁の名前は中々出てきません。色々な歴史書を探りました。

三つ目は、信天翁の特異な生き様を探る事です。

四つ目は、岩倉具視や大久保利通に比べると信天翁は有名ではありませんが、それはなぜか、というのを私なりに探りました。分をわきまえた生き方をしているな、と感じました。五つ目は、物事を少し離れて見る冷静な目をもっている信天翁の様です。お知り合いの方に紹介して頂けたらと思います。

次回例会案内

平成26年1月1日（水） 正月三が日による休会

平成26年1月8日（水） 定款第6条1Cによる休会

平成26年1月15日（水） 新年例会

平成26年1月22日（水）

クラブフォーラム（ロータリー情報委員会）

卓話：第一興商プレゼンツ

最新カラオケの楽しみ方とカラオケ健康法

卓話者：(株)第一興商 岡崎支店

石川直樹様、半田幸嗣様、小澤美鶴様、石川尚子様

平成26年1月29日（水）

卓話：市出前講座「明日への政策について」

卓話者：碧南市役所 経営企画課 課長 奥谷直人様